

ごあいさつ

コスモ・ザ・カード「エコ」の発行、そしてコスモ石油エコカード基金の設立から3年が経ちました。約77,000人の会員の皆さまに支えられ、『ずっと暮らせる地球』を思い描きながら進めております6つのプロジェクトは、その一つ一つが現地にしっかりと根をはやし、枝葉を広げながら着実に成長しております。そのことを、この報告書を通して会員の皆さまにお伝えできますことを、たいへん嬉しく思うと同時に、日々支えていただいております皆さまに、心から感謝申し上げます。

今年3月、わたくしはシルクロード緑化プロジェクトで沙棘を植林し、管理して下さっている劉さんの農園を訪れました。当地に向かう飛行機の窓から外を見ますと、見渡す限り、乾燥した大地が広がっておりました。その北西に位置する黄土高原では、さらに乾燥、砂漠化が深刻化していると言います。いつ果てるともない茶褐色の大地に一本一本木を植える、気の遠くなる話だというのが正直な感想でした。そのとき、プロジェクトパートナーの孫先生がこうおっしゃいました。「大昔、ここは緑でした。何百年、何千年という年月をかけて、人間の営みが緑を消してしまいました。そのために生態系は損なわれ、土地は痩せ、人の営みさえも脅かされ始めています。私たちは、何百年、何千年かけてでも、地球を蘇らせなくてはなりません、その第一歩は、ひとりでも多くの方が問題に気づき、理解することです」。御年89歳の先生は村々を訪ね歩き、自分たちが直面する現実を説き、仲間をひとりずつ増やし、確実に植林サイトを広げておられます。

わたくしはこの訪問で、プロジェクトサイトでの環境劣化の実態やそれに纏わる様々な問題、そして実際に「問題」に取り組んでいる様子などをできるだけたくさん、そしてきちんと社会に伝えること、それがここ日本において、「エコ」カード基金の果たすべき大切な役割のひとつではなからうかという思いを抱きました。

この報告書やホームページなどを通して、少しでも皆さまに現場の空気をお伝えすることができればと思います。そして、(気の遠くなるような)地球環境保全、即ち「ずっと暮らせる地球」の実現に向けたさらなる「一歩」に繋がることを願っております。

皆さまの温かいご支援に今一度感謝申し上げますと共に、今後とも変わらぬご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

コスモ石油エコカード基金
理事長 森川 桂造



左:孫先生、中央:劉氏、右:森川